



購読料 年8,000円  
送料共 但し、会員  
は会費に含まれる

発行所

京都府保険医協会  
〒604-8162 京都市中京区烏丸通  
蛸薬師上ル七観音町637 第41長栄  
カーニープレイス四條烏丸6階  
電話 (075) 212-8877  
FAX (075) 212-0707  
編集発行人 久保 佐世

新春特集  
京都府保険医協会

特集Ⅰ 社会保障基本法シンポ  
特集Ⅱ 丹後逢刻  
会員投稿  
(2・3面)  
(4・5面)  
(6面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
  - ◆休業補償制度 (所得補償、傷害疾病保険)
  - ◆積立傷害保険
  - ◆自動車保険・火災保険
- 上記事業は(有)アミスが  
取扱っています。  
☎075-212-0303



油絵30号

丹後半島「屏風岩」 吉岡 均二 (与謝)

鳥取海岸から丹後半島経ヶ岬にかけた海岸がジオパークに指定された。以前から好きな海岸であるが、好きな理由は地理学的な意味でなく、単に絵のモチーフとしてである。描きたい場所は他にもあるが高齢の身とすれば、まず近場であることが必要で

# 謹賀新年 2012年元旦

本年もよろしく願いたします 京都府保険医協会 理事者・事務局一同



理事長 関 浩

である。日本の「国民皆保険制度」は米国の「障壁」そのもので、米通商代表報告書では「厳格な規制によって、医療サービス市場へ外国アクセスが制限されている」ときめつけている。政府はTPPに加盟しても公的医療保険制度は守れるという。しかし、日本の制度には、すでに保険外併用療養費という混合診療の仕組みが組み込まれている。規制の完全撤廃により参入する外国民間保険会社は混合診療の全面解禁をも要求するであろう。これを許せば「平等」という日本の医療の理念は「格差」という現実に取り替えて代えられてしまう。

京都府保険医協会会員の皆様、平成24年新年明けましておめでとうございます。東日本大震災の復興は道半ばではあるが、第3次補正予算に盛り込まれた阪神・淡路大震災の3倍の復興事業による景気押し上げに期待する。一方、福島原発では1号機から3号機において原子炉を突き破り、格納容器の底を浸食した核燃料の除去が迫られる極めて困難な状況にある。人知が無限でない限り、再び「想定外の事態」が起こらないという保証はない。何よりも電力の原子力依存度を減らし、再生可能エネルギーの開発に全力を尽くすべきである。

## 医療・社会保障制度の後退許さない運動を

では、もしも国民皆保険制度を強化する政策をとった場合、保険会社が政府に対し、損害賠償請求訴訟を起こすとさえ可能になっているのだ。混合診療の拡大とともに、国内外の利潤追求の病院経営が進むことになり、国民皆保険制度の空洞化がもたらされる。社会保障の中核を破壊し国民に大きな打撃を与えるTPP参加は反対である。政権交代の原動力になった民主党マニフェストは、「社会保障の抜本改革」「消費税率の維持」だったはずである。だが「社会保障と税の一体改革」での社会保障改革は現行制度の延長線に過ぎず、かつ5%消費増税が明記された。現在のデフレ下での消費税増税は、景気低迷をさらに深刻化させ、税収全体の落ち込みを招く冷水・猛毒なのである。

「社会保障・税の一体改革」の目的は、法人税や所得税などの財源を、財政再建に振り向けるために、社会保障に対する主財源を消費税に置き換えようとするもの。また、消費税の使途を社会保障に限定する「目的税」化は、社会保障に消費税以外の財源を投入しないという危険なものである。財源がないからと社会保障費を増やさないという意見がある。しかし、財源問題でなぜ社会保障が狭められなければならないのか？ いまこそ社会保障、医療制度保障をしっかりとした制度にし、将来の不安を軽減するべき。今年、介護・医療の同時改定においては、医療・社会保障制度の後退を許さない運動が必要である。

協会は保険医として日本の医療の担い手である会員のために日常における保険診療、経営、医療安全、指導・監査、文化活動、日本の医療政策への提言など通じて会員の健全な医療に資するべく毎日の活動を続けていく所存である。

# 特集I 講演録 今なぜ、社会保障基本法・憲章か

10月15日に開催したシンポジウム「今なぜ、社会保障基本法・憲章か」では、社会保障各分野の報告で困難を明らかにするとともに、それを打開する構想としての社会保障基本法・憲章について二つの講演が行われた。本号で、その野下、渡辺両氏による講演概要を掲載する。

## 構造改革政治に對抗する 新たな福祉国家構想の輪郭



渡辺 治氏 一橋大学名誉教授・「福祉国家と基本法研究会」幹事・福祉国家構想研究会代表メンバー

野田政権が誕生して自民党にも戻れず政治の未来に絶望しています。

野田政権が誕生して自民党にも戻れず政治の未来に絶望しています。野田政権は消費税引き上げ・TPP参加を打ちだし、構造改革の政治を止めてほしいという期待を担って登場した民主党は、自公政権同様、政治の輪郭、とくにその中心をなす社会保障の原則、政権となりませんでした。国民は体系について考えてみたいと思えます。

### 1 今なぜ福祉国家型対抗構想が必要か——四つの理由

野田政権は、国民の期待にこたえず、構造改革の政治をやめてくれるのではないかと期待を、政権交代が実現したわけです。

はじめに、福祉国家型対抗構想が求められている理由を四つから検討しましょう。第一の理由は、私たちが民主党政権を経験したことです。

もともと民主党は、構造改革を自民党と競い合う保守第2政党として登場しました。しかし、構造改革の矛盾の激発とそれに反対する様々な大衆運動などの圧力を受けて、07年に福祉型

外移転方針に苛立ったアメ

を打開する構想としての社会保障基本法・憲章について二つの講演が行われた。本号で、その野下、渡辺両氏による講演概要を掲載する。



渡辺 治氏 一橋大学名誉教授・「福祉国家と基本法研究会」幹事・福祉国家構想研究会代表メンバー

体系的な社会保障の構想、それを保障する税財政構想も含まれた福祉国家型構想が不可欠だったということが明らかになりました。これが、福祉国家型対抗構想が緊急性を帯びている第一の理由です。

### 東日本大震災と復興・復興が提起した課題

2番目の理由は、3月11日の大震災と原発事故、ここからの復旧・復興には、構造改革政治の停止と福祉国家型政策が不可欠だということ、かなりの国民の中に明らかに二つあるということ。

東北の地震と津波被害はなぜあれほど深刻化したのでしょうか。津波の被害がこれほどまでに深刻化したのは、復旧・復興がこれだけ遅れていること、背景には、過去の自民党の大企業本位、利益誘導型の政治があり、そして、これを右から壊した構造改革の政治の影響を考えると、わけにはきません。

東北地方は、高度成長時代から地場産業や農業の保護を打ち切られて衰退の方向に進んでいました。けれども地方はただちに衰退したわけではありませんでした。自民党が自分たちの支持基盤を守るために、ダム道路など新幹線など、湯水のように公共事業

投資を行って雇用を支え、企業を誘致したからです。これを右から変えたのが構造改革です。大企業の負担を軽減するためには、財政を拡大する公共事業投資などムダだということ、小泉政権が行った地方構造改革の下で、公共事業は切られ、雇用は縮小していきま

た。そこに地震と津波が襲ったのです。ですから大震災、原発事故からの本当の意味での復旧・復興は、構造改革でぼろぼろになった公務部門、社会保障制度を復活させねばなりません。さらに根本的には、原発に依存しない、あるいは公共事業投資に依存しない地場産業や農業を復活させることです。

また大震災は、人間らしい暮らしを保障するための社会保障の原則をも垣間見させました。大震災直後、注目すべき出来事があり、厚労省が異例の特例措置を失せきりに通知した

### 民主党の構造改革型復興構想への対決

3・11後、民主党政権は、大震災が構造改革政治の停止と福祉国家型政策を求められているという教訓をまったく逆にして、この震災をテコにして構造改革型復興構想、構造改革型の社会保障改革構想を打ち出しました。これが対決し、こうした方向に歯止めをかけるためにも、福祉国家型構想を対置する必要が出てきた。これが理由の3点目です。

4月6日、経済同友会は「第2次緊急アピール」を出しました。アピールは、被災地を大企業本位の構造改革型地域づくりのモデルにする構想を打ち出しました。アピールは、津波で農地から農民が追い出されたことを絶好のチャンスに

このまま構造改革の中でやろうとしてもできなかった農地の集約化を主張し、漁民たちが船を失い漁港を失ったこのチャンスに、大企業の参入による漁業、漁港の集約化を打ち出した。大企業が入りやすいように、道州制、法人税引き下げ、原発再稼働なども打ち出しました。

ここで私たちが二つのことを学べます。一つは、ここに社会保障のあるべき姿が現れているという点です。厚労省は震災被害に驚いてやった措置ですが、本来、保険料は応能負担でなければならぬし、窓口負担はゼロにして安心して医療にかかれます。ところが厚労省は構造改革の下

進めることができない段階で出てきた構想でした。これ以上社会保障を切り捨てると、貧困や餓死や自殺、ネットカフェ難民が増えて構造改革の推進どころではなくなる。一定程度、社会保障の支出を拡大する必要があり、そのうち、そのために大企業の負担を増やすことはできないので、消費税を大々的に引き上げるという構想で一定の「積極性」はありました。

### 社会保障運動のたごっぼ化

福祉国家型社会保障構想を必要とする四つの理由がかけられています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今年6月に政府の「社会保障改革に関する集中検討会議」は「社会保障と税の一体改革」をまとめたが、この社会保障分野でも同じことがいえます。

社会保障運動のたごっぼ化 福祉国家型社会保障構想を必要とする四つの理由がかけられています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている

今、保育でも介護でも障害者福祉でも、どの分野でも同じ攻撃、すなわち現物給付原則を解体し、公的責任を放棄しようという攻撃がかけられています。相手は戦略的に同じ攻撃をかけてきているのです。ところが、攻撃を受けている方は、頑張っている



特集II 地域紹介5

丹後逢刻



「飛龍観」天の橋立

地域紹介シリーズの第5回目は「丹後」。北丹医師会の谷口謙氏(86)・笹野満氏(69)と、謝医師会の吉岡均氏(86)・岩根敏男氏(85)に丹後の地域医療の移り変わりについて語りあっていた。ゲストの丹後観光口コミ大使語り部の会代表・久保善康氏からは丹後の歴史や今後について伺った。

第一部 「丹後王国」の地

久保 丹後観光口コミ大使の久保です。口コミ大使の活動は、「ふるさと丹後」の自慢を、観光客や、地元の子もたちなどに分かり易く伝えていくというのが主な目的です。会の発足から日も浅く、まだまだ満足域には達していませんが、各方面からの期待に応えていくよう頑張っていますのでよろしくお願いしたいと思います。

さて丹後を語るべき、古代丹後を抜きには通れません。その昔、丹後国と書いて、タニハノミチノシリノクニと読まれていました。奈良時代の初頭、和銅6年(713年)4月3日に朝廷の命により丹波国(タニハノクニ)の国府があった北部の加佐郡、与謝郡、丹波郡(後の中郡)、竹野郡、熊野郡の5郡を割いて、丹後国が置かれました。来る2013年は、丹後国建国から1300年の記念すべき年となります。このタイミングで、丹後を取り上げていただくことは住民として大変嬉しく思います。

今から25年前、故門脇濱一教授が唱える丹後王国論も正確には、丹後国になる以前の丹波王国の話と私は捉えています。この頃が最も丹後が輝いていたと思われ、浪漫を感じます。712年に古事記、720年に日本書紀が編纂された。丹後国が生まれた713年には、勅命により各地の国の風土記の編纂が始まったといわれます。丹後国風土記も逸文として残されています。またその一部は日本書紀にも書かれています。

記紀によりすると、第9代開化天皇、第10代崇神天皇、第11代垂仁天皇の条では、丹後(当時タニハノクニ)を支配下に置かれています。記紀によりすると、第9代開化天皇、第10代崇神天皇、第11代垂仁天皇の条では、丹後(当時タニハノクニ)を支配下に置かれています。

雄略天皇(AD456-479) 垂仁紀から4世紀下つた第21代雄略天皇までの間、丹波(丹波)に関する記載はありません。日本書紀によりすると、雄略22年丹後国風土記に出てくる伊根・宇良神社、網野・嶋見神社の「祭神、丹波国、与謝の浦嶋子伝説」もありません。

門脇教授によれば、四世紀中ごろから六世紀初頭まで五世紀中の100年間に丹波(丹波)の最盛期と捉えられると述べています。飛鳥時代には朝廷の地方制圧がすすみ、地方豪族も順次その支配下となり中央集権体制が確立しつつ地方独自の政治・文化も衰退していったと考えられます。

開化天皇(BC158-98) 若狭根子日子大毘々命(「開化天皇」、春日の伊邪川宮に坐して天の下治めらしめし此の天皇丹波の大県主名は由基理の女丹波野媛を娶らして、産みませる皇子比古由牟須美命云々と古事記にみられます。

崇神天皇(BC97-30) 日子坐王は第10代崇神天皇と異母弟で、崇神天皇の命により舞鶴の青葉山を根城に悪事を働く鬼・土蜘蛛の首領「陸耳御立」を討伐した。と記紀に記され、青葉山から由良、大江町河守から大山山に追いつめ退治する物語が丹後国風土記に始まり、「その社伝に伝わる延喜式神名帳で大社格を持つ竹野神社(別名・齋の宮神社)が丹後町にある。竹野神社以外にも日子坐王を祀る神社は現在の丹後丹波但馬の各所に見られ、この地との関係の深さがうかがえます。また、竹野神社に接するようにある宮神社には開化天皇の二人の王子、日子坐王、建豊波全長190mの前方後円墳古墳です。

用明天皇(推古天皇) これも記紀の記録はありますが、さらに時代は下つて、第31代用明天皇32代崇峻天皇、33代推古天皇の時代の伝承として、間人の地名起源とする、聖徳太子の生母・穴穂部間人皇の丹後疎開説話として、聖徳太子異母弟・麻呂子親王鬼退治物語と七仏薬師(寺)建立伝説が伝えられており、この頃までが丹後(丹波)と朝廷の密接な関係が窺えます。

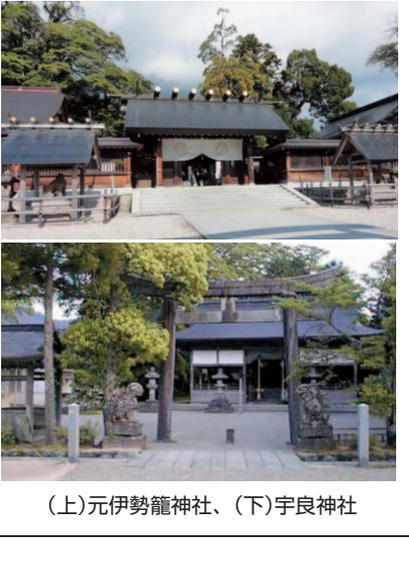
丹後には正史とは違っても一つの丹後王国があったことを忘れてはいけないと思います。丹後にはもう一つの天孫降臨が伝えられています。それは国宝海部氏系図及び海部氏勳注系図に記載された日本最古の系図といわれ、籠神社主祭神「彦火明命で海部氏の始祖として82代現皇司・海部光彦氏まで2000年以上の血脈を誇ります。この彦火明命は別名天孫「ニギハヤヒノミコト」といわれ、記紀の神代系図からその後の記載がないものの、丹波・丹後の国造の祖とされています。

久保 善康氏 丹後観光口コミ大使 語り部の会代表 京都銀行退社後、(株)道の駅「てんきてんき丹後」開発準備室長(=初代室長)、民間製菓会社「お菓子司あん」立上、NPO法人「全国まちづくりサポートセンター丹後支所」地域ガイド丹後塾長、丹後観光口コミ大使、京都丹後ふるさと検定実行委員等を経て、2011年丹後観光口コミ大使「たんご語り部の会」発足、代表

丹波(丹波)と朝廷の密接な関係が窺えます。海部氏は海人族の領袖として古代海上交易に深く携わり、その勢力は但馬・丹

丹後(丹波)と朝廷の密接な関係が窺えます。海部氏は海人族の領袖として古代海上交易に深く携わり、その勢力は但馬・丹

丹後(丹波)と朝廷の密接な関係が窺えます。海部氏は海人族の領袖として古代海上交易に深く携わり、その勢力は但馬・丹



(上)元伊勢籠神社、(下)宇良神社



谷口 謙氏 (北丹医師会)

「ここからは、先生方に丹後の医療の移り変わりについてうかがいます。」

**吉岡** 私が開業した当時は、虫垂炎が多く、当直した一晩に2、3例あったこともあり、外科の先生を起すのが気の毒なくらいです。実際には胆のう結石や尿道結石の方もおられたのでしたが、みんな回虫症と一緒に患っていました。

**笹野** 後から考えると、最近、昔の資料を整理していたら、麻薬の数量届けの控えが出てきました。あの時期、ものすごい量の麻薬を使っていたんです。

**谷口** それは私も同じです。

**岩根** とにかく痛みを止めるために、よく使っていた時期がありました。

**吉岡** 昭和34年の開業当初、年間36アンプルだったのが、昭和38年には132アンプルに増えています。

「私が聞いたのは1本5000円でしたよ。」

**谷口** 私は吉岡先生より半年早いから1万円だったんですよ。急速に値段が下っていきましたから。

**吉岡** 結核予防法ができて使えるようになったとき

る業種といえば機械金属くらいです。そんな中で、これからの若い人たちがどんどん育つような土壌をこの丹後でつくっていくかなければならないと思っています。

京丹後市は現在、「健康長寿の郷」づくりに取り組んでいます。市内には男性長寿世界一の114歳になる木村次郎衛門さんがおら

る業種といえば機械金属くらいです。そんな中で、これからの若い人たちがどんどん育つような土壌をこの丹後でつくっていくかなければならないと思っています。

京丹後市は現在、「健康長寿の郷」づくりに取り組んでいます。市内には男性長寿世界一の114歳になる木村次郎衛門さんがおら



吉岡 均二氏 (与謝医師会)

「丹後には「長寿」に関連した伝承も多く残されています。伊根町新井には、古代中国から徐福が不老不死の仙薬を求めて辿り着いたといわれています。網野町木津には、垂仁天皇の家来である但馬守が非時香菓(不老不死の霊薬)を常

世の国から持ち帰ったといわれています。私の近所の丹後町乗原には、人魚の肉を食べて800年生きたという八百比丘尼伝説があります。伊根町、網野町には浦島伝説がありますが、常世の国で300年生きたというところから、これも長寿伝説といえるでしょう。

美浜町はすでに自前の病院を持っていたので計画から抜けた。残ったのが大宮、峰山、網野、丹後町ですが、丹後町は医師数が少ないからできない。網野は当時数が多かった。網野町だけが

**岩根** 官津市では、休日に行ける病院が市内に一つもないというは市民に対して申し訳ないというところから、他に先駆けて市独自で始めたんです。内科が昭和40年、外科が昭和43年から。与謝3町ではそれから5年遅れて昭和45年から始まりました。他の自治体からもいい制度だと評価され、正月休みなどの前には、今の京丹後市の職員が名刺を持ってやって来て「何かあったときはお願いします」と頼まれたこともありました。



笹野 満氏 (北丹医師会)

「北丹地域での輪番宅医制はいつごろ始まりましたか。」

**笹野** 北丹地域での輪番宅医制は、昭和53年に京都府から予算をつけるから休日診療所をつくるように、というところから始まったと思います。しかし、弥栄町と久

「北丹地域で輪番在宅医制はいつごろ始まりましたか。」

**吉岡** 北丹地域で輪番在宅医制はいつごろ始まりましたか。

**笹野** 北丹地域での輪番宅医制は、昭和53年に京都府から予算をつけるから休日診療所をつくるように、というところから始まったと思います。しかし、弥栄町と久

